

国立能楽堂大茶湯 へのおさそい

国立能楽堂4月主催公演開催日に近隣店舗による物品販売・コラボメニューの提供等を行います！

国立能楽堂では令和4年が茶人・千利休の生誕500年にあたることに因み、4月主催公演を《月間特集 千利休生誕500年》と題して、利休や茶道、茶器ゆかりの能と狂言を特集して取り上げます。公演に関連して近隣の店舗・施設と協力し、4月主催公演開催日に以下の通り《国立能楽堂大茶湯（おおちやのゆ）》と題したイベントを開催いたします。天正15（1587）年、豊臣秀吉が催し、千利休も参加した、京都・北野天満宮での大茶会「北野大茶湯」のようにたくさんのご来場を賜り、多くの方に日本が誇る文化である能楽、そしてお茶に親しんでいただければ幸いです。



風味豊かな宇治抹茶菓子と各種お茶を品揃えております。



茶 丸山園×国立能楽堂 コラボ茶販売
「お茶は丸山誠が香る」の標語のもと
“良品・誠実”をモットーに昭和3(1928)
年11月3日、新宿に創業しました。急須で
淹れたお茶の美味しさを沢山の方に知っ
て頂きたいというのが全社員の願いです。
公演当日のロビーにて、国立能楽堂との
コラボのお茶等を販売いたします。

京都老舗の抹茶メニューを御食事処で
森半は天保7(1836)年、京都宇治にて創業
しました。森半 千駄ヶ谷店では、風味豊
かな宇治抹茶を中心に、さまざまなお茶、
抹茶菓子などを品揃えております。公
演当日のロビーでの、お茶やお菓子の販
売に加えて、国立能楽堂の御食事処向日
葵にてコラボメニューを提供いたします。



お茶は丸山、誠が香る

茶丸山園

株式会社丸山園本店
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-8-2
TEL: 03-3356-4188
URL: <http://www.maruyamaen-honten.co.jp/>

●茶 丸山園 新宿御苑前店 【住所】新宿区新宿1-8-2 【電話】03-3356-4188
【営業時間】平日 午前11時～午後6時30分 【定休日】土曜日・日曜日・祝日

千駄ヶ谷の
ソフトクリームと
カフェのお店

レティエ
LAITIER
SOFT CREAM & CAFE

抹茶スイーツを 国立能楽堂・店舗 両方で展開！
LAITIER(レティエ)とは、フランス語で牛乳屋さんのこと。静岡県の大美伊豆牧場より直送の牛乳を使用した日本一のソフトクリームの味をぜひお試しください。公演当日のロビーでの焼菓子の販売に加えて、4月中は店舗にて、《千利休生誕500年》に因んだコラボメニューを提供いたします。



【住所】 渋谷区千駄ヶ谷1-22-7
【電話】 03-6455-5262
【営業時間】 平日：12時～午後6時
土日祝：午前11時～午後6時
【定休日】 火曜日(祝日の場合は営業)

●4月国立能楽堂主催公演《月間特集 千利休生誕500年》

6日(水) 午後1時開演 定例公演
狂言「通円」 山本東次郎(大蔵流)
能「八島」 長島茂(喜多流)
9日(土) 午後1時開演 普及公演
解説・能楽あんない 宮本圭造
狂言「止動方角」 野村万蔵(和泉流)
能「車僧」 山階彌右衛門(観世流)
15日(金) 午後5時30分開演 定例公演
狂言「千鳥」 松田高義(和泉流)
能「俊寛」 種田道一(金剛流)
22日(金) 午後1時開演 狂言の会
狂言「雁磔」 三宅右近(和泉流)
狂言「茶壺」 大藏彌太郎(大蔵流)
新作狂言「宗旦狐」 茂山茂

入場券好評販売中

お申込みは……

【電話】
国立劇場チケットセンター
0570-07-9900
03-3230-3000(一部IP電話)

【インターネット】
<https://ticket.ntj.jac.go.jp>

または「国立劇場チケットセンター」で検索！

イベントの詳細は決まり次第、国立能楽堂ホームページ等でお知らせいたします。ぜひ、お楽しみに！

千利休をもっと深く知る手がかりに

令和4年4月から、同じく《千利休生誕500年》に因み、齋田記念館では企画展「千利休をめぐる茶書の歴史 —築き上げられた茶聖像—」を開催いたします。

※ 茶書とは……茶の湯の名物道具や茶会の記録、茶人の逸話などを収録した書物。

詳細は右のチラシをご参照ください。能楽によって描かれてきた茶の湯の世界と、歴代の茶書に残された利休像を、併せてご覧いただくことで利休や茶道をより身近にお楽しみいただければ幸いです。

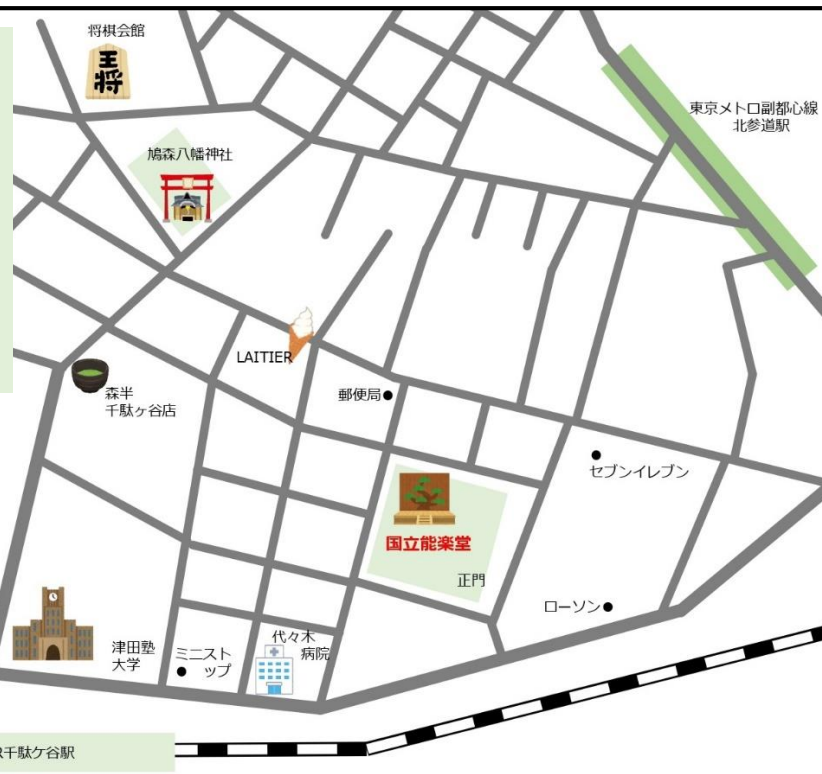
国立能楽堂から、今回ご紹介した店舗・施設への交通のご案内は以下の通りです。国立能楽堂にご来場の際にはぜひ、近隣の店舗・施設へも足をお運びください。

●齋田記念館

国立能楽堂—(徒歩5分)→千駄ヶ谷駅—(JR中央総武線5分)→新宿駅—(小田急線15分)→世田谷代田駅—(徒歩7分)→齋田記念館

●茶丸山園 新宿御苑前店

国立能楽堂—(徒歩7分)→北参道駅—(東京メトロ副都心線5分)→新宿三丁目駅—(東京メトロ丸ノ内線5分)→新宿御苑前駅—(大木戸門口を出て右隣)→茶丸山園 新宿御苑前店



お問合せ先：国立能楽堂営業課

〒151-0051渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

電話 03-3423-1331(代) FAX 03-3423-1393



千利休生誕500年を迎える2022年、齋田茶文化振興財団・齋田記念館でも、“茶の湯”の文化形成に重要な役割を果たした千利休を取り上げ、「千利休をめぐる茶書の歴史」をテーマに企画展を開催いたします。

“わび茶”の大成者として千利休(1522-1591)は、群雄割拠の戦国時代、大坂堺に生まれ、商家としての生業のかたわら茶の湯において一家をなし、織田信長や豊臣秀吉に茶堂(茶の湯をもって君主に仕える者)として仕えました。とりわけ、秀吉の側近として政治にも深く関わり、最期は、秀吉の命により切腹したと言われています。

ただ、その茶の湯に対する価値観は、利休自身の書いた茶書が残されていないため、同時代の周辺人物の記録か、あるいは後世に編まれた茶書から読み解かざるを得ません。特に、利休没後100年に編まれた『南坊録』は、現代の私たちが一般にイメージする茶聖としての利休像の形成に大きな影響を与えましたが、近年の研究では偽書とされ、その内容の多くが否定されています。それは、すなわち利休顕彰の思いを抱いた後世の人々によって築き上げられた利休像と言えましょう。

本展では、利休の愛弟子・山上宗二の記した『山上宗二記』を始め、利休と同時代の人が記した比較的信憑性の高い記録の中に利休の実像を追い求め、一方で、その死後に編まれた茶書に、茶聖としての利休像がどのように築き上げられてきたのかを探ります。皆様のイメージする利休像は、果して実像か？虚像か？歴代の茶書の中に探ってみませんか。



- 休館日 土曜(但し第四土曜4/23、5/28、6/25は開館)、日曜、祝日
※新型コロナウイルスの感染状況により臨時休館の場合あり。事前にご確認ください。
- 開館時間 10時～16時30分(入館は16時まで)
- 入館料 300円 ※障害者・75歳以上・学生および再来館等割引あり。
- アクセス 電車=小田急線・世田谷代田駅より徒歩7分/小田急線・梅ヶ丘駅より徒歩10分
東急世田谷線・若林駅より徒歩10分
バス=渋谷駅西口4番乗り場より小田急バス経堂行(渋54)・宮前橋下車徒歩2分

齋田記念館

〒155-0033 東京都世田谷区代田3-23-35 Tel:03-3414-1006 <https://saita-museum.jp>